



土と芽だより

平成 28 年 4 月 115 号

新年度が始まりました。毎年この季節になると武庫川河川敷での一斉清掃の準備が始まりますが、今年度からは保護者の清掃はなくなりました。公園清掃は、26 年間尼崎市から委託を受けみんなで協力し合い続けてきましたが、今回の入札で条件を変更申請し地活センター「かがやき」だけで行うことになりました。長年ご協力頂き本当にありがとうございました。これからは「かがやき」の利用者・職員で頑張りますので応援よろしくお願いたします！

発行



一般社団法人
尼崎市手をつなぐ育成会

〒660-0893

尼崎市西難波町 2-3-10

TEL6419-3897/FAX6419-3899

E-mail : ikuseikai.ama@y3.dion.ne.jp

<http://www.ikusei-ama.com/>



部会・委員会



行事名	全体研修会（マイナンバー制度について）				
日 時	1月21日（木）	場 所	小田公民館	参加者数	52名
内 容	講師：社会福祉法人 大阪手をつなぐ育成会 事務局長 小尾 隆一 氏 ・マイナンバーは一人に一つだけの番号で役所などでの手続きに必要なもの。 「通知カード」は捨てたり、破ったりせず大切に保管する。 必要がなければほかの人にマイナンバーを教えるてはいけない。 ・手続きをすれば「マイナンバーカード(個人番号カード)」を取得する事が出来る。 「マイナンバーカード」は、顔写真付で公的な身分証明書として利用できる。 市町村によっては、コンビニで住民票をもらうこともできるなどとても便利。 ・「マイナンバーカード」を取得するには「通知カード」と一緒に届く申請書に必要事項を記入し送り返す。 ・公的な手続きをする場合、マイナンバーカードがない場合は、「通知カード」と「本人確認」ができるものが必要。本人確認には顔写真がついていないもの(例:国民健康保険被保険者証、介護保険被保険者証等)は2点、療育手帳・パスポート・運転免許証など顔写真が付いていれば1点提示する。				
行事名	第3回かがやき運営委員会				
日 時	1月27日（水）	場 所	事務所		
内 容	1. 近況報告 2. 活動と仕事の内容について 3. 今後の予定 4. その他				



行事名	幼児期・学齢期茶話会				
日 時	2月26日（金）	場 所	あこや学園	参加者数	25 名
内 容	・先輩母との懇談 ☆子育てで悩んでいるお母さんたちは、先輩お母さん方の話を聞くことで少し見通しが持てホッとしたという意見が多かった。 ・福祉サービス、作業所・施設の説明 ☆作業所での取り組みの違いや作業所以外でも個人にあった選択肢があることなどが分かり安心したという声も聞かれた。 				
行事名	第5回心障連役員会				
日 時	3月3日（木）	場 所	かがやき（七松）		
内 容	1. 成人式・還暦祝と新年おめでとう会の報告と反省 参加者合計 245 名（新成人 17 名・還暦 1 名） 2. 平成 28 年度成人式・還暦祝と新年おめでとう会について 平成 29 年 1 月 8 日（日） 3. その他 … 第 51 回定期総会 6 月 22 日（水） 中央公民館 大ホール 講演：障害福祉課 … 差別解消法の尼崎市の取り組みについて				

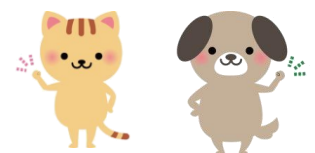


その他報告



行事名	第19回近畿手をつなぐ育成会連絡協議会リーダー養成研修会				
	1月29日(金)	場 所	大阪市立社会福祉センター	参加者数	5名
内 容	開会宣言 社会福祉法人 大阪市手をつなぐ育成会 理事長 小泉 いと子 開会あいさつ 近畿手をつなぐ育成会連絡協議会 会長 小原 冷子 (公益財団法人 兵庫県手をつなぐ育成会 理事長) 開会にあたり 全国手をつなぐ育成会連合会 会長 久保 厚子 氏 午前：基調講演 「魅力ある育成会活動について」 講師 全国手をつなぐ育成会連合会 副会長 小出 隆司 氏 ☆浜松市の浜松手をつなぐ育成会の活動についての話を聞く。 ・幼児期の会員が毎年増えている・・・私たちが一番つらく苦しかったのは子どもが生まれて障がいがあった時、その時期の人たちに手をさしのべられない育成会の存在価値はない。(療育の支援体制整備・充実への積極的参画) ・顧問弁護士による法律相談が受けられる。 午後：ワークショップ テーマ「<u>育成会を拡大していくためには</u>」 総評(久保会長) ☆学齢期の会員の減少は若いおかあさんは働いている人が多く、入って何が得かと言われるが、社会保障審議会にはPTAは入っていない。数が多いが組織力は弱い。育成会に入ってこそ発言力がある。インターネットに情報はいろいろあるが、使った人の情報は育成会から聞く(手続き関係等)				

行事名	県第 2 回施設・事業所部会				
日 時	2月 17 日（水）	場 所	加古川はぐるま福祉会	参加者数	3 名
内 容	テーマ「はぐるま福祉会の就労に向けた取り組みと作業に向けての取り組み」 ・施設見学 ・施設の内容・現状等について説明 ・質疑応答・情報交換 ・20 年前に出来た入所施設。（2 人部屋で畳の部屋）現在入所 40 名、通所 25 名の 65 名が活動をしている。ショートステイも行っている。 ・働く事がメイン。仕事が出来る環境をつくる。仕事を合わせるのではなく、人に仕事を合わせる。認め、励ます。 ・就労移行・・・2 年以内だけど 9 ヶ月ぐらいで就労できる。辞める人はいない。65 歳まで勤めてもう一度福祉の場に戻ってくる（ハッピーリタイア）				
行事名	県第 2 回地域生活・就労支援部会				
日 時	2月 25 日（木）	場 所	県福祉センター	参加者数	7 名
内 容	講演：テーマ「特例子会社としての取り組みについて～知的障害者への合理的配慮～」 講師：株式会社ダイキンサンライズ摂津 代表取締役社長 澁谷 栄作 氏 ・設立は 23 年前にダイキン工業の社会的貢献のひとつとして設立。 障害者 119 名雇用。仕事は親会社（ダイキン工業淀川工業所）からほぼ 100%受注している。年 1 回バーベキュー大会がありそこでは仕事の受注をもらっている方を招待して親睦をはかる。毎日出勤でフルタイム仕事の出来る人。フルタイムにこだわるのは一緒に働いている仲間と同じという意識を持ってもらうため。1 年目は契約社員、2 年目から正社員。 給料は年 1 回昇給、年 2 回賞与（出来高、実績で評価あり）				
行事名	福成会を支援する会				
日 時	3月 10 日(木)	場 所	塚口福成園会議室		
内 容	1. 平成 27 年度収支状況 2. 賛助金の使途について … 地域生活準備金に 100 万円繰り入れる。 3. 次年度の役員について … 福成会評議員の倉橋氏を推薦 4. その他 … リーフレット改訂版を作成し配布する。				
行事名	社会福祉法人福成会理事会・評議員会				
日 時	3月 23 日(水)	場 所	塚口福成園食堂		
内 容	1. 役員の選任について(理事会は評議員の選定について) 2. 役員及び評議員の費用弁償に関する規程の一部を改正する規程について 3. 組織規程の一部を改正する規程について 4. 事務処理規定の一部を改正する規程について 5. 就業規則の一部を改正する規程について 6. 育児休業及び育児短時間労働勤務に関する規程について 7. 給与規定の一部を改正する規程について 8. 平成 27 年度収支補正予算(第 2 次)について 9. 平成 28 年度事業計画及び収支予算について				



理事会報告

第38回理事会 1月16日

1. 要望書の回答について …土と芽だより 114号掲載
2. その他…「手をつなぐ」購読料請求書と来年度値上げ（年額 3,600 円→3,800 円）のお知らせを賛助会員に配布、会員については会費据え置き。

第39回理事会 2月12日

1. 平成 27 年度補正予算
2. 平成 28 年度事業計画
3. 平成 28 年度予算 ⇒資料にて説明
4. 地区懇談会の報告

第40回理事会 3月4日

1. 平成 27 年度補正予算（一般）
2. 平成 28 年度予算（一般・かがやき）⇒資料にて説明
3. 福成会役員の推薦について
 - ・福成会役員に育成会から理事 2 名と監事 1 名を選出しているが、今回任期満了により理事の推薦を依頼された。監事については、法人監査より指摘を受け育成会からは推薦せずに理事 2 名のみ推薦となる。来年度も今までと同じく会長と清流園の相木理事を推薦する。
4. 地区懇談会の報告

地区	日時	場 所	参加者	①防災ワークショップ②マイナンバー制度について③その他
小田 園田	2/3	小田公民館	30 名	防災ワークショップはいろんな意見が出て盛り上がった。防災グッズを見直すきっかけになった。マイナンバーはとりあえず様子をみてから。子どもの写真をうまく撮れるかなど不安。
中央 大庄	2/15	大庄地区会館	14 名	クロスロードは盛り上がった。実際に災害が起こった時に自分の家族はどうするかを改めて考えさせられた。非常持ち出し袋は実際に何を持ち出すかを考えたのでためになった。マイナンバー制度は暗証番号がいることなど知らない事があった。不透明な部分があるので今後の動向を含めて注意していく。高齢化が進んできているので育成会活動で高齢化に力を入れてほしい。
立花 武庫	2/19	女性センター トレピエ	32 名	クロスロードゲームは状況に対して YES・NO のカードで判断したが、これが答えというものがなく個々の考えの違いを話し合うゲームだった。非常持ち出し袋は中に入れる 9 品を何が必要かをグループで話し合ってた。意見がいろいろあって参考になった。マイナンバー制度は社会保障・税・災害の手続き等の簡素化ができる。写真付きなので身分証明になる。「まんまるはーと」の活動を説明。

5. 予算総会当日の役割分担について

…… 訃 報 ……

2月 弓場 正和 様 （あいあい 弓場 典子さんのお父様）

末広 光江 様 （園田地区 末広 一明さんのお母様）

こころよりご冥福をお祈りいたします。

行事報告

月 日	曜日	行 事	月 日	曜日	行 事
1/10	日	成人式・還暦祝と新年おめでとう会	2/19	金	立花・武庫地区懇談会
1/13	水	AプロチームⅡ	2/25	木	県第2回地域生活・就労支援部会
1/14	木	自立支援協議会ガイドライン部会	2/26	金	幼児期・学齢期茶話会
1/18	月	自立支援協議会あまっこ部会	2/29	月	AプロⅢ(施設見学)障害者施設あすなろ
1/19	火	社会見学(TASAKI)	3/3	木	第5回心障連役員会
1/20	水	賀詞交換会	3/4	金	理事会
1/21	木	全体研修会(マイナンバー制度について)	3/10	木	阪神特別支援学校高等部卒業式
1/22	金	AプロチームⅠ(打ち合わせ)			阪神地区連絡協議会
1/26	火	自立支援協議会くらし部会			福成会を支援する会
1/27	水	第3回かがやき運営委員会	3/11	金	県理事会、公園清掃プレゼン
1/29	金	近畿リーダー研修会	3/14	月	自立支援協議会あまっこ部会
2/2	火	ハザー委員会	3/15	火	AプロチームⅡ(GH見学)
2/3	水	小田・園田地区懇談会	3/16	水	予算総会
		市職員対象に障害者差別解消法の研修会	3/18	金	AプロチームⅠ
2/5	金	小田地区民生委員(疑似体験)			自立支援協議会全体会
2/7	日	県第2回本人活動支援部会	3/22	火	県評議員会
2/10	水	Aプロジェクト委員会(全体会)	3/23	水	福成会理事会
2/12	金	理事会	3/24	木	尼崎市要望書提出
2/14	日	トラの会(本人部会)	3/25		県育成会会長会
		近畿ブロック魅力ある事業所づくり研修会			あこや学園卒園式
2/15	月	中央・大庄地区懇談会	3/28	月	学齢期バスツアー(いちご狩り・有馬富士)
2/17	水	県第2回施設・事業所部会	3/29	火	自立支援協議会ガイドライン部会

尼崎市に要望書を提出しました



3月24日心障連として初めて尼崎市に要望書を提出しました。提出にあたり北村保子市会議員のお力添えにより直接稲村市長にお渡しし趣旨を説明することが出来ました。当日は、市長をはじめ尼崎市医務監、障害福祉局長など尼崎市行政幹部も沢山同席頂き、心障連からは6名が出席しました。

要望は早急に解決していただきたい下記の2点のみですが、私達の熱意は伝える事が出来たと思っています。

1. 兵庫県東部阪神地区にはリハビリテーションセンターがなく、リハビリテーションを必要とする障害児者は、大阪にある「南大阪小児リハビリテーション病院」「森の宮病院」等で訓練をせざるを得ません。つきましては、リハビリを必要とするすべての方々を対象とした「リハビリテーションセンター」の設置を東部阪神地区にお願いします。
2. 福祉サービスが進み地域で暮らす障害をもつ人たちが増えていますが、その方たちの高齢化や家族の高齢化が進んでいます。高齢になった障害をもつ人たちが親亡き後も安心して地域で暮らしていくためには身近な場所での生活の場が必要です。既存の高齢者施設では対応の難しい人達のための施設、あるいは高齢者施設の中に障害者枠の設置を望みます。

おねがい

AプロジェクトチームⅠを中心に活動している「まんまるはーと」のチラシが出来ました♥♥♥

まんまるはーとでは、参加された方に知的障害をもった人の気持ちを疑似体験を通じて理解してもらうためのワークショップを行なっています。昨年度は3か所で実施し好評でした。これから更に活動の輪を広げたいと思っているのでお知り合いのグループ等にお声掛けをお願いいたします。



こんにちは！私たちは「尼崎市手をつなぐ育成会」の『まんまるはーと』というグループです。知的障害を持つ人とそうでない人との間に橋をかけたいと思って活動しています。

知的障害は外からはわかりにくく、行動も理解されにくい障害です。

そこで「知的障害 疑似体験」というワークショップを通して知的障害の人の特性や気持ちを体験していただき、共に生きる仲間として理解を深めていただけたらと考えています。

ワークショップは楽しい内容で、わかりやすく簡単なものですのでどなたにもご参加いただけます。

ぜひ、学習会などにお声掛けください！



一般社団法人 尼崎市手をつなぐ育成会とは…



尼崎市内の知的障害・自閉症を子どもに持つ家族の会で昭和34年に発足しました。当時は、障害に対する理解も乏しく偏見もあり、また就学猶予・免除といって障害があると教育の場も満足ではありませんでした。そんな中同じ障害の子をもつ母親17名でスタートし、今では会員は市内で420名ほどになり知的障害への理解のための啓発や研修を行っています。また育成会は全国的な組織で、47都道府県9政令都市にほとんど設置され全国手をつなぐ育成会連合会として活動しています。

☆お問い合わせ☆



一般社団法人
尼崎市手をつなぐ育成会

〒660-0893 尼崎市西難波町2-3-10

TEL 6419-3897 / FAX 6419-3899

E-mail : ikuseikai.ama@y3.dion.ne.jp

<http://www.ikusei-ama.com/>

